

	Enterprise	Professional	ライセンス切れ状態	Basic
① 実行環境の履歴管理	○			
② Java ブリッジ	○			
③ アプリケーション・バージョン管理	○	○		
④ アプリケーション負荷分析 (Z-Ray)	○	○		
⑤ パフォーマンス向上 (ページキャッシュ)	○	○		
⑥ ジョブキュー	○	○		
⑦ イベントの監視 (モニタリング)	○	○		△
⑧ コードトレーシング	○	○		○
⑨ Zend Studio との連携	○	○	△	○
⑩ データベース連携 (DB2など)	○	○	○	○
⑪ XML Toolkit による IBMi 資源の利用	○	○	○	○
⑫ PHP 実行環境	○	○	○	○
⑬ イベント記録などの保持期間	無制限	3か月		2時間
⑭ イグアスサポート窓口受付	○	○		

(Enterprise 版および Professional 版の注意)

ライセンスの期限切れ後は PHP そのものは稼働しますが、Web 管理画面にログインできなくなります。そのため、Web 管理画面での操作が必要な機能は使用できなくなります。ライセンスを登録すると、Web 管理画面にログインできるようになります。

(例えば、⑨では、デバッグを許可する IP アドレスの設定、およびイベントの詳細表示画面から Zend Studio を起動することができなくなります。しかし、Zend Studio によるデバッグそのものは行えます。そのため△にしています)

(Basic 版の注意)

Basic 版では 最初の1年間だけ、⑦から⑬までが使用できます。1年を過ぎると、Enterprise 版および Professional 版のライセンス切れの状態と同様に Web 管理画面にログインできなくなります。Enterprise 版または Professional 版のライセンスを登録すると、Web 管理画面にログインできるようになります。

(Basic版の ⑦の△印は、アラートをメールなどに通知する機能および API 関数が使用できないことを意味します。)